(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3149420号
(U3149420)
(45)発行日　平成21年3月26日(2009.3.26)　(24)登録日　平成21年3月4日(2009.3.4)

(51)Int.Cl.　F I
A47B 81/06 (2006.01)　A47B 81/06 H

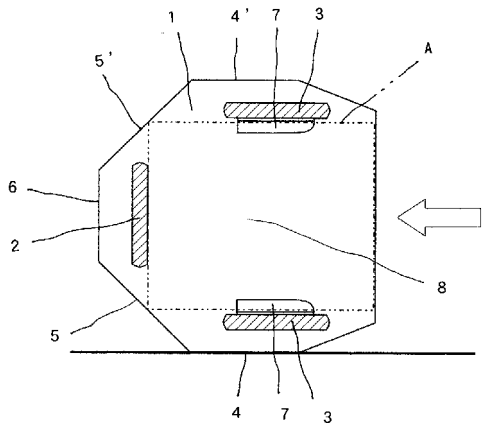
評価書の請求 未請求　請求項の数 1　ＯＬ　（全 5 頁）

(21)出願番号　実願2009-123(U2009-123)
(22)出願日　平成21年1月14日(2009.1.14)

(73)実用新案権者　507418832
株式会社トレードワン
愛知県海部郡美和町大字木田字西明２５番地
(74)代理人　100072121
弁理士　松波　秀樹
(72)考案者　若松　繁隆
愛知県海部郡美和町大字木田字西明２５番地　株式会社トレードワン内

(54)【考案の名称】収納用具

(57)【要約】
【課題】　収納用具における設置場所、設置環境の制約を緩和すべく設置姿勢の多様化を可能となし使い勝手のよい利便性に優れた収納用具を提供することを目的とする。
【解決手段】相対向する一対の両面板１、１における当該両面板１、１の外周縁上に少なくとも相互に適合する真横向き横設置用底辺４、斜め上向き横設置用底辺５、及び、上向き設置用底辺６となる各々の直線状の線分を設けると共に両面板１、１間に支承枠材２、及び、相対向する一対の挟持枠材３、３とを介在して連結一体化し、かつ、一対の挟持枠材３、３における相互の対向面上に各々対向する適宜数のリブ７、７を設け、当該相対向する各々のリブ７、７間にＣＤ／ＤＶＤ等の光学記録媒体、その他のディスク状収納物Aを抜き差し自在に収納し得るよう構成した。
【選択図】　図４



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
相対向する一対の両面板１、１における当該両面板１、１の外周縁上に少なくとも相互に適合する真横向き横設置用底辺４、斜め上向き横設置用底辺５、及び、上向き設置用底辺６となる各々の直線状の線分を設けると共に両面板１、１間に支承枠材２、及び、相対向する一対の挟持枠材３、３とを介在して連結一体化し、かつ、一対の挟持枠材３、３における相互の対向面上に各々対向する適宜数のリブ７、７を設け、当該相対向する各々のリブ７、７間にＣＤ／ＤＶＤ等の光学記録媒体、その他のディスク状収納物Aを抜き差し自在に収納し得るよう構成したことを特徴とする収納用具。

【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、ＣＤやＤＶＤ等のディスク状光学記録媒体、その他のディスク状収納物を収納、整理するための収納用具に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来、ＣＤ／ＤＶＤラック等とも呼称されているＣＤやＤＶＤ等のディスク状光学記録媒体、その他のディスク状収納物を収納、整理するためのこの種の収納用具は、いずれのものも当該収納用具自体の設置姿勢をあらかじめ想定して設計、製作されていることから、実際の使用に際しては、所定の設置姿勢を遵守しなければならず、使用者にとっては設置場所、設置環境の制約を受け易く使い勝手が悪いという問題点があった。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開平８－７０９４３号公報
【考案の概要】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
本考案は、如上の問題点に鑑みてこの種収納用具における設置場所、設置環境の制約を緩和すべく案出したものであって、設置姿勢の多様化を可能となし使い勝手のよい利便性に優れた収納用具を提供することを目的とするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本考案に係る収納用具は、相対向する一対の両面板における当該両面板の外周縁上に少なくとも相互に適合する真横向き横設置用底辺、斜め上向き横設置用底辺、及び、上向き設置用底辺となる各々の直線状の線分を設けると共に両面板間に支承枠材、及び、相対向する一対の挟持枠材とを介在して連結一体化し、かつ、一対の挟持枠材における相互の対向面上に各々対向する適宜数のリブを設け、当該相対向する各々のリブ間にＣＤ／ＤＶＤ等の光学記録媒体、その他のディスク状収納物を抜き差し自在に収納し得るよう構成したことを最も主要な特徴とするものである。
【考案の効果】
【０００６】
本考案に係る収納用具は、その設置姿勢において、縦置き、横置きのみならず横置きにあっては、真横向き、斜め上向き、上向きの各々の設置姿勢をも可能となすことができ、設置姿勢の多様化の実現から設置場所、設置環境の制約がきわめて少なく、使い勝手のよい利便性に優れた実用的効果を奏する。
【図面の簡単な説明】

【０００７】
【図１】図１は収納用具の縦設置状態の斜視図である。
【図２】図２は収納用具の縦設置状態の正面図である。
【図３】図３は収納用具の真横向き横設置状態の正面図である。
【図４】図４は収納用具の真横向き横設置状態の縦断面図である。
【図５】図５は収納用具の斜め上向き横設置状態の縦断面図である。
【図６】図６は収納用具の上向き横設置状態の縦断面図である。
【考案を実施するための形態】
【０００８】
本考案は、相対向する一対の両面板における当該両面板の外周縁上に少なくとも相互に対応する真横向き横設置用底辺、斜め上向き横設置用底辺、及び、上向き横設置用底辺となる各々の直線状の線分を設けることによって、単なる縦置き、横置きの設置姿勢の他に横置きにおいて、真横向き、斜め上向き、上向きの各種設置姿勢を可能とする収納用具を実現したものである。
【実施例１】
【０００９】
以下に、本考案を図示する実施例に基づいて説明すると、本考案に係る収納用具は、相対向する一対の両面板１、１の間に支承枠材２、及び、相対向する一対の両挟持枠材３、３とを介在して連結一体化し組み立てている。
【００１０】
そして、上記一対の両挟持枠材３、３の相対面上にはケース入りのＣＤやＤＶＤ等の光学記録媒体、書籍類、その他のディスク状収納物Ａを挟持し得る所定数の相対向するリブ７、７を設けている。該リブ７、７を用いてディスク状収納物Ａを支承枠材２と両挟持枠材３、３とで形成される一方向を解放する収納部８に外部から抜き差し自在に整理、収納し得るよう構成している。
【００１１】
上記両面板１、１における各々の外周縁上には、相互に適合する真横向き横設置用底辺４、斜め上向き横設置用底辺５、及び、上向き横設置用底辺６となる各々の直線状の線分を設けている。
【００１２】
上記の如き構成になる本考案の収納用具は、先ず図１及び図２に示す如く縦置き状態に設置して使用することができる。ここにおいて、一旦収納した後のディスク状収容物Ａの不用意な抜け落ちを防止するために相対向するリブ７、７を若干後ろ下がり傾斜に設けることが効果的である。
【００１３】
次に、図３及び図４に示す如く面板１、１における真横向き横設置用底辺４、４を用いて真横の横置き状態に設置して使用することができる。更には、図５に示す如く面板１、１における斜め上向き横設置用底辺５、５を用いて斜め上向きの横置き状態に設置して使用することができる。更にまた、図６に示す如く面板１、１における上向き設置用底辺６を用いて上向きの横置き状態に設置して使用することができる。
【００１４】
なお、両面板１、１における真横向き横設置用底辺４、斜め上向き横設置用底辺５、及び、上向き横設置用底辺６以外の外周縁上部分には、上向き横設置用底辺６を中心として対称となる部位に逆斜め上向き横設置用底辺５’、及び、逆真横向き横設置用底辺４’を設ければ、図４及び図５においてその逆方向となる逆斜め上向き状態、逆真横向き状態にも設置して使用することもできる。
【００１５】
また、図示する本実施例にあっては、相対向する一対の両面板１、１間に介在して連結一体化し組み立てた支承枠材２、及び、相対向する一対の両挟持枠材３、３は、帯板状でなり、かかる支承枠材２、及び、相対向する一対の両挟持枠材３、３ をもって収納部８

を形成しているが、支承枠材２及び両挟持枠材３、３を各々幅広に壁板となして面板１、１との組み合わせにより一面を解放する箱状に構成するも任意である。

【００１６】

また、本考案は、面板１、１、リブ７、７、収納部８、等のサイズ、間隔を適宜に設定することにより、ＣＤ、ＤＶＤ、のみならず、ＭＤ、ＦＤ等の光学記録媒体、書籍類、その他のディスク状収納物Ａを収納対象とすることができる。

【００１７】

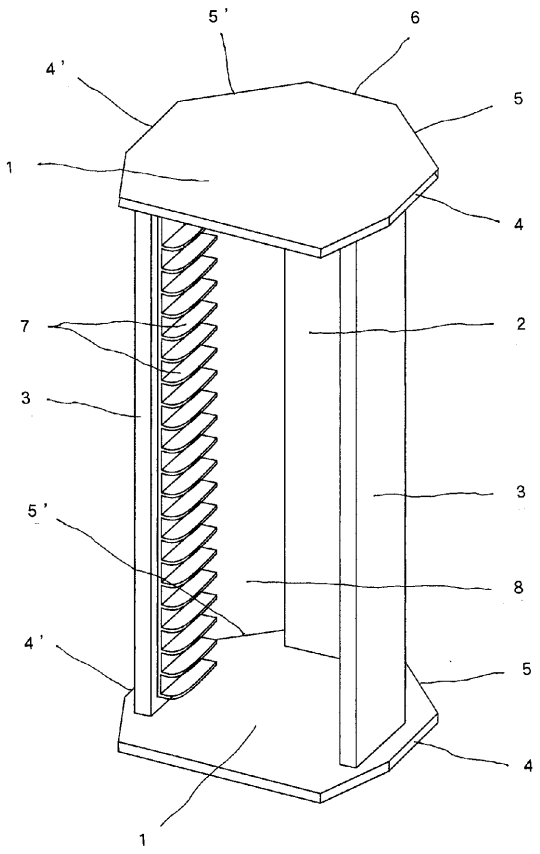
本考案に係る収納用具は、以上の如くなるので、その設置姿勢において、縦置き、横置きのみならず横置きにあっては、真横向き、斜め上向き、上向きの各々の設置姿勢を可能となすことができ、設置姿勢の多様化を実現することができる。これにより、設置場所、設置環境の制約がきわめて少なく、使い勝手のよい利便性に優れた実用的効果を奏する。

【符号の説明】

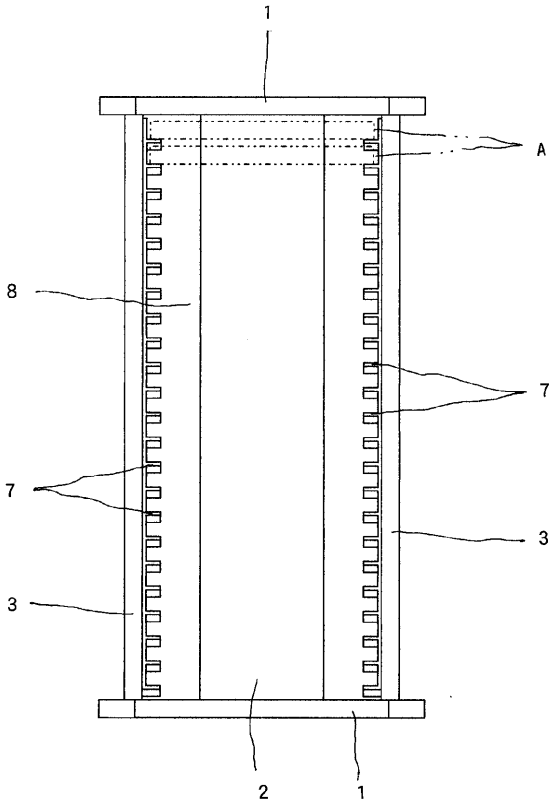
【００１８】

１　面板
２　支承枠材
３　挟持枠材
４　横向き横設置用底辺
５　斜め上向き横設置用底辺
６　上向き横設置用底辺
７　リブ
８　収納部
Ａ　ディスク状収納物

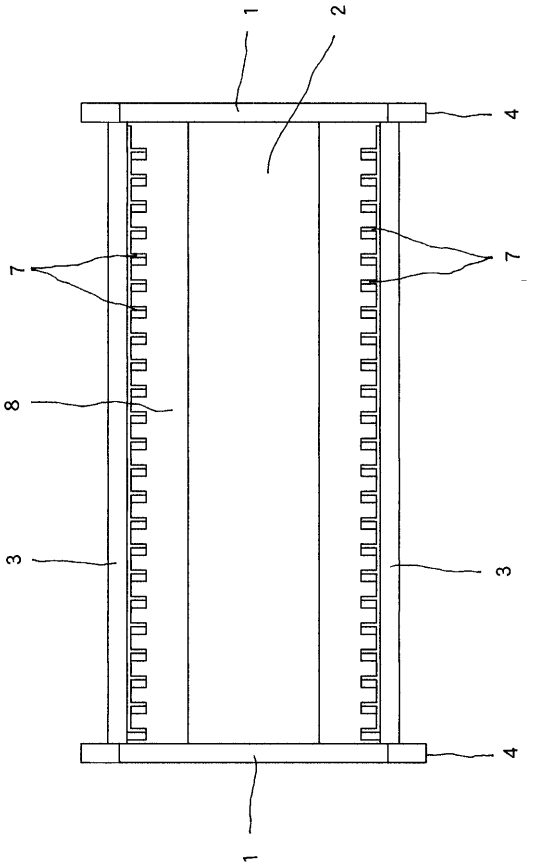
【図１】



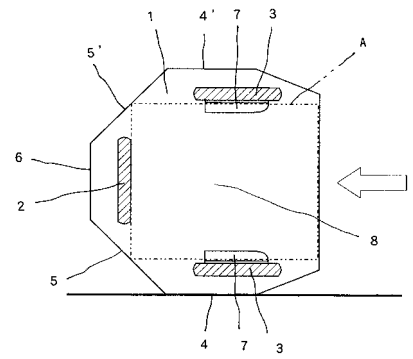
【図２】



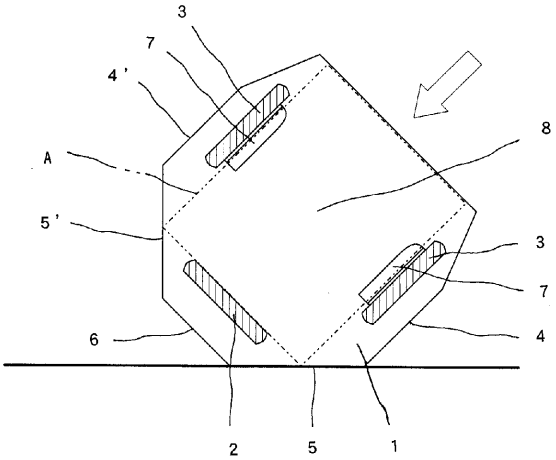
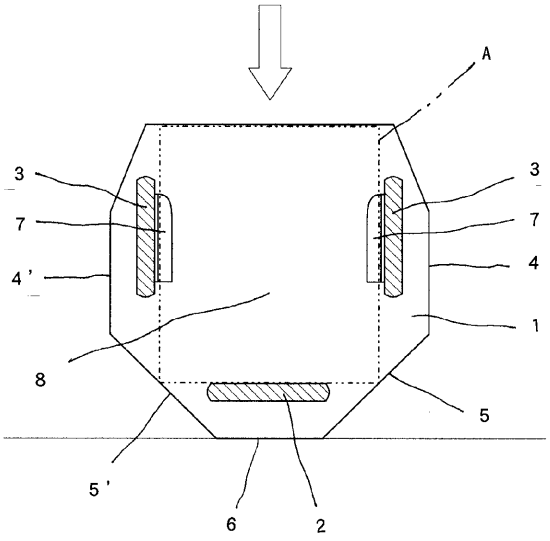
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】